

若年性認知症とは…



65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」と言います。

若年性認知症の人は、働き盛りの年齢で仕事や家事が十分にできなくなることで、身体的にも精神的にも、また経済的にも大きな負担を抱えます。

早期発見、早期治療により、病気の進行を遅らせたりすることができます。

早期のサポートが、将来の生活に向けた準備を進めることにもつながります。



— 活動の様子 —

若年性認知症の人と家族が安心して今まで通り地域で暮らしていくためには、周囲の理解が不可欠です。

しかし、認知症だからという決めつけや無理解により、本人と家族が地域の中で孤立しがちな状況にあります。

同じような悩みを抱えている人がつながり、気持ちを分かち合い、情報交換する場として本人の会、家族会があります。

その中のひとつが「ソレイユ」です。

「ソレイユ」では、下記のような活動をしています！

- ご本人、ご家族の自己実現
- レクリエーション
- 病気や制度サービスについての勉強会
- 参加者の希望を聞きながら、プログラムを考えます。



【問い合わせ先】

若年性認知症交流カフェ「ソレイユ」

TEL: 078-271-5316

FAX: 078-271-5366

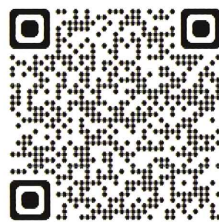
mail: n-renkei@with-kobe.or.jp

住所：〒651-0086

神戸市中央区磯上通3-1-32

こうべ市民福祉交流センター 4階

神戸市社会福祉協議会 福祉事業課



ホームページQRコード

Our gathering started in 2021

若年性認知症交流カフェ

ソレイユ

～「ソレイユ」はフランス語で
「おひさま」という意味です～



毎月1回、ご本人とご家族がつどい、安心して自己実現や情報交換ができる居場所です。